

2022年8月 キューバ情勢

【概況】

1 内政

- (1) 電力供給不足及び国内での抗議活動
- (2) マタンサスにおける大規模火災

2 外交

- (1) 「一つの中国」の原則を支持する外務省声明
- (2) セラコビッチ・セルビア外相のキューバ訪問
- (3) ロドリゲス外相のペトロ・コロンビア大統領就任式への出席
- (4) ハバナにおけるコロンビア政府と民族解放軍（ELN）の和平交渉の開催
- (5) マレーロ首相の国連気候変動会議（COP27）に向けた第1回カリコム首脳地域会議への出席

- (6) ヒル副首相兼経済企画大臣のベネズエラ訪問

(7) カブリサス副首相のホセ・エドゥアルド・ドス・サントス・アンゴラ元大統領の国葬への出席

- (8) ペニャルバル第一外務次官のベトナム、カンボジア、ラオス訪問
- (9) ロドリゲス外相のセルビア訪問

3 経済

- (1) 個人に適用される公定為替レートの変更
- (2) 国内の卸売・小売業への外資参入許可等
- (3) 個人への外貨販売開始

4 保健

- (1) 新型コロナウイルス感染状況等（※8月31日時点、保健省発表）
- (2) 新型コロナウイルス対策ワクチン接種者人口割合（※8月31日時点、保健省発表）
- (3) キューバにおけるサル痘感染状況

【本文】

1 内政

- (1) 電力供給不足及び国内での抗議活動

2日、労働社会保障省は、国内の電力供給不足に対応するため、国営セクターにおける電力消費量削減のための措置を発表。また、キューバ電力公社は、これまで計画停電が行

われていなかった首都ハバナにおいても、8月1日以降、3日おきに地区毎に10時から14時の間、それでも不足する場合には追加的な計画停電を行うことを発表。停電の深刻化を受け、国内各地で長時間の停電に対する抗議活動が行われた。

（２）マタンサスにおける大規模火災

5日19時頃、首都ハバナから東方約100キロの位置にあるマタンサスの工業地帯において、落雷により石油貯蔵タンクが爆発、さらに別の3基のタンクに延焼し、8基あるタンクのうち4基で爆発及び火災が発生した。8月31日時点で、16名が死亡、13名が入院中、計146名が負傷した。火災によりキューバの大型石油貯蔵タンクの約40%が消失したことで、国内の電力供給不足はさらに悪化した。

2 外交

（１）「一つの中国」の原則を支持する外務省声明（2日）

キューバ外務省は、ナンシー・ペロシ米下院議長の台湾訪問に際し、キューバは、「一つの中国」の原則の厳格な遵守と、台湾が中国の領土の不可侵の一部であるとの認識を改めて確認する旨の外務省声明（8月2日付）を発出した。

（２）セラコビッチ・セルビア外相のキューバ訪問（3－5日）

3日から5日、セラコビッチ・セルビア外相はキューバを公式訪問し、バルデス・メサ副大統領、ロドリゲス外相との会談を行い、良好な二国間関係及びさらなる二国間協力の拡大の意思を確認した。また、アロンソ文化大臣との間では文化協力に関する覚書に署名した。

（３）ロドリゲス外相のペトロ・コロンビア大統領就任式への出席（7－10日）

7日から10日、ロドリゲス外相はペトロ・コロンビア大統領就任式への出席のため、コロンビアを訪問した。大統領就任式出席の他、ペトロ新大統領表敬、レイバ・コロンビア外相との会談を行った。また、ノルウェーの代表団とともにコロンビアの最終和平合意の署名者と会談を行い、キューバのコロンビア和平に関する立場を確認した。また、コロンビア・キューバ友好議員連盟を設立した。

（４）ハバナにおけるコロンビア政府と民族解放軍（ＥＬＮ）の和平交渉の開催（11－12日）

11日、ロドリゲス外相及びキューバを訪問中のコロンビアのレイバ外相は、コロンビア政府と民族解放軍（ＥＬＮ）の和平交渉をハバナで再開。12日午後、ディアスカネル大統領は、革命宮殿にてレイバ外相等コロンビア政府関係者、ＥＬＮの和平交渉代表团及び本件交渉に関わる関係者を迎え入れ、コロンビアの和平のためのキューバの揺るぎない

コミットメントを確認するとともに、米国政府によるキューバのテロ支援国家リストへの掲載に終止符を打つよう求めたレイバ外相に謝意を表明した。

（５）マレーロ首相の国連気候変動会議（COP27）に向けた第１回カリコム首脳地域会議への出席

１５日から１８日、マレーロ首相は、本年１１月にエジプトで開催される国連気候変動会議（COP27）に向けて開催された第１回カリコム首脳地域会議に参加するため、バハマを訪問した。バハマ滞在中にマレーロ首相は、デビス・バハマ首相、モトリー・バルバドス首相、スケリット・ドミニカ国首相、ミッチェル・グレナダ首相、ハンナ＝マーティン・バハマ教育大臣、ダーヴィル・バハマ保健大臣、クーパー・バハマ副首相兼観光・航空・投資大臣との会談を行い、キューバとの連帯組織及びバハマ在住キューバ人との意見交換を行った。

（６）ヒル副首相兼経済企画大臣のベネズエラ訪問（２３－２４日）

２３日から２４日、ヒル副首相兼経済企画大臣はベネズエラを訪問し、マドゥーロ・ベネズエラ大統領及びロドリゲス・ベネズエラ副大統領と会談を行い、二国間関係の強化に関して意見交換を行った。

（７）カブリサス副首相のホセ・エドゥアルド・ドス・サントス・アンゴラ元大統領の国葬への出席（２６－２９日）

２６日から２９日、カブリサス副首相はアンゴラを訪問し、２８日に行われたホセ・エドゥアルド・ドス・サントス元大統領の国葬に出席した。カブリサス副首相は、ロウレンソ・アンゴラ大統領と会談を行い、ラウル・カストロ将軍及びディアスカネル大統領からの哀悼の意を伝えた。また、年内に開催される予定の第１５回キューバ・アンゴラ政府間委員会に先立ち、二国間関係の強化に関して意見交換を行った。

（８）ペニャルバル外務第一次官のベトナム、カンボジア、ラオス訪問（２８日－９月５日）

２８日から、ペニャルバル外務第一次官は、ベトナム、カンボジア、ラオスの訪問を開始した。２８日から３１日にかけて訪問したベトナムにおいては、ブイ・タイン・ソン外相を表敬、Ha Kim Ngoc ベトナム副大臣との会談を行い、Le Cong Tien ベトナム米州担当副局長との間で、第７回ベトナム・キューバ外務省間政治協議を行った。

（９）ロドリゲス外相のセルビア訪問（２９日－３０日）

２９日から３０日、ロドリゲス外相はセルビアを訪問し、ブチッチ・セルビア大統領と会談を行い、本年１１月４日に両国の外交関係１２０周年を迎える二国間関係の良好な状

態を確認した。プッチ・セルビア大統領はロドリゲス外相に両国の協力と友好関係と強化における特別な功績を称え「セルビア国旗第一勲章」を授与した。また、セラコビッチ・セルビア外相との会談では、政治外交経済商業関係の強化への意思を確認し、両国外務省の外交官学校間での協力に関する覚書に署名した。その他、ウドヴィッチ・セルビア若者スポーツ大臣との間で、スポーツ分野での協力と理解促進のための覚書に署名した。

3 経済

(1) 個人に適用される公定為替レートの変更

ヒル副首相兼経済財政大臣及びウィルソン中央銀行総裁は、4日から、空港、ホテル、両替所及び銀行において、米ドルを含む外貨現金を現行の公定為替レートである1ドル＝24キューバ・ペソ（CUP）ではなく、1ドル＝120CUPで購入し、為替手数料はそれぞれの銀行等が2%～9%の範囲で設定することを発表した。また、1ドル＝120CUPのレートは、現時点ではあくまで個人向けのレートであり、法人には適用されず、1ドル＝24CUPのまま維持されると説明した。

(2) 国内の卸売・小売業への外資参入許可等

15日、ディアス国内流通大臣及びゴンザレス外国貿易・外国投資省第一次官は国営テレビにおいて、国内の卸売・小売業への外資参入を認めるとともに輸出を促進する新施策を発表した。発表によると、小売業に関しては、外国企業と国営企業の合弁企業を設立し、その事業体への外国投資が可能になり、卸売業に関しては、完全な外国資本の企業であっても、国内の経済発展に貢献する目的であれば、参入が可能になる由。

(3) 個人への外貨現金の販売開始

23日から、国家による個人への外貨現金の販売を開始することが発表された。本措置は、現金での取引にのみ適用され、国内37か所の国営両替所でのみCUPから米ドルを含む外貨に両替することができると発表されている。両替の上限は一人一回100米ドル（他の外貨の場合も100米ドル相当分）。ただし、引き続き米ドル現金に関しては銀行口座に入金することはできないとされている。

4 保健

(1) 新型コロナウイルス感染状況等（※8月31日23：59時点、保健省発表）

ア 感染者累計：	1, 120, 589名
イ 死亡者数：	8, 530名
ウ 退院者数：	1, 101, 798名
エ 自国帰国者数：	57名
オ 国外搬送者数：	2名

カ 入院中： 335名

(2) 新型コロナウイルス対策ワクチン接種者人口割合（※8月31日時点、保健省発表）

緊急接種の許可が付与されているキューバ国産ワクチンの①アブダラ（3回接種型）、②ソベラナ2、ソベラナプラス（ソベラナ2を2回、ソベラナプラスを1回の3回接種型、またはワクチン未接種で感染した人はソベラナプラスのみの1回型）の合計41,215,831回接種が行われ、人口の90.1%が接種完了。

ア 第1回接種終了 10,697,601名

イ 第2回接種終了 9,426,307名

ウ 第3回接種終了 9,128,570名

エ 接種完了人数（3回接種終了者及び感染者でソベラナプラス接種者の合計）：

9,987,269名

オ ブースター接種終了 8,254,912名

(3) キューバにおけるサル痘感染状況

キューバ保健省はプレスリリースを通じて、21日、キューバで初のサル痘患者発生が確認された旨（その後22日に同患者は死亡と発表）、また、31日、2例目のサル痘患者発生が確認された旨発表した。

（了）